

ジュニア防災士授与式・慰労会

開催日時：令和6年4月3日（水）11：00～13：30

開催会場：早稲田集会所 1階ホール

参加者：ジュニア防災士5名、早稲田学区自主防災連絡協議会4名

ジュニア防災リーダーの1年間の活動の締めくくりとして実施したジュニア防災士テストに合格したリーダーに、ジュニア防災士の認証状の授与式を行い、1年間の活動を労うための慰労会を開催しました。

1. ジュニア防災士 認証状授与式

- ・ジュニア防災リーダー全員がジュニア防災士テストに合格し、早稲田学区自主防災連絡協議会の西田会長から、認証状とジュニア防災士証を授与されました。



ジュニア防災士証
(サンプル)



ジュニア防災士認証状の授与



ジュニア防災士全員で記念撮影

2. ジュニア防災士 慰労会

- ・ジュニア防災リーダーの1年間の活動を労うため、昼食会を開催して、活動の感想などを聞きました。



慰労会の様子

ジュニア防災リーダー（中学生） - ふゆまつりWBQ(わせだBOUSAIクエスト) -

開催日時：令和6年1月28日（日）10：00～13：30

実施場所：早稲田公民館 ホール・研修室1など

参加者：一般参加者123名(小学生87名, 大人(中学生以上)36名)

ジュニア防災リーダー5名+友人1名、わせだ自主防12名、その他1名

ジュニア防災リーダー（中学生）が考案し、主体的に企画・準備・運営した特別企画WBQ(わせだBOUSAIクエスト)を、この時期の早稲田学区の恒例行事で4年ぶりの開催となる“ふゆまつり”で実施しました。ふゆまつりでこれまで実施してきた防災コーナーの中で最多の参加者となり、ゲームで楽しみながら防災について考えるきっかけ作りをしました。

1. 参加受付（冒険者の宿）

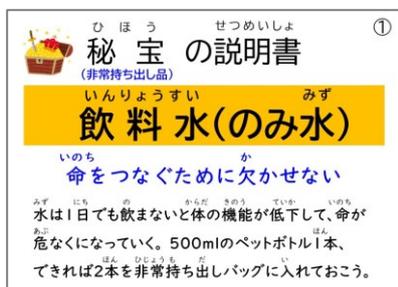
- 参加者（冒険者）を“冒険者の宿”と称した受付場所で参加の登録を行い、参加方法やゲームクリア条件などを説明します。
- 参加者には「旅立ちの書」(参加方法説明書)・「道具袋」(ナップザック)・「名札」を渡して参加してもらいました。



参加者の受付(説明:ジュニア防災リーダー)

2. 宝箱の探索（秘宝探し）

- 参加者は、公民館のホールなど1階フロアに隠されている宝箱を探し、中にある秘宝（非常持ち出し品）を集めます。
- 秘宝は全部で10種類あり、ゲームクリアのため小学生は5種類以上、大人は8種類以上を集めます。
- 宝箱には非常持ち出し品の説明書があり、ゲームクリアに必要な情報になっています。



秘宝の説明書



宝箱を見つけて秘宝を取り出す参加者

3. 村長・魔法使いの協力

- 公民館の中には、参加者に協力してくれる“村長(むらおき)”や“魔法使い”が隠れています。
- 村長は秘密の宝箱の位置と鍵の番号を教えてくれて、魔法使いは別のミッション（サブクエスト）を指示し、ミッションをクリアすると秘宝を1つ贈り物としてくれます。



村長から秘密の宝箱を教えてもらう参加者

4. 王の間での対決

- 必要な数の秘宝を集めたらサイガイ王が待つ“王の間”に向かいます。王の間でサイガイ王が出すクイズに必要な秘宝を出し、一定数を正解出来たらゲームクリアになります。
- ゲームクリア後は、実物の非常持ち出し品が展示されているコーナーでマイ非常持ち出しバッグを作ったり、「わが家の防災準備リスト」で自宅の備蓄品の状況を確認などをしてもらいました。



サイガイ王と参加者の対決



家庭の備蓄品が足りているかをリストで確認

ジュニア防災リーダー - 友楽タイム・ぼうさい運動会 -

開催日時：令和5年12月10日（日）10：00～12：00

実施場所：早稲田公民館 ホール

参加者：小学生6名、一般参加者4名、ジュニア防災リーダー4名、わせだ自主防3名、早稲田学区青少協3名

早稲田学区青少協と連携した友楽タイムにて、運動しながら楽しく防災を学べる“ぼうさい運動会”を開催しました。中学生のジュニア防災リーダーも参加し、準備・後片付けから競技への参加まで運営をサポートしました。

1. 運動会の競技説明

- ・ぼうさい運動会の競技について体育協会会長から説明
- ・2つのチームにチーム分け

2. 担架リレー

- ・物干し竿と防災備蓄倉庫にある毛布を使用した簡易担架作りを習得
- ・簡易担架を使って、リレー競争方式で運搬を体験

3. バケツリレー

- ・防災活動に必要なチームワークを大切にすることを体験
- ・バケツで防災用備蓄品をリレー運搬し、運搬できた個数で競争

4. キャタピラリレー

- ・火災時に煙を吸わないよう低い姿勢を保つことを競争しながら体感
- ・前が見えない競技者をチームのメンバーが声掛けして協力することで、災害時に団結することの必要性も学ぶ

5. ぼうさいスリッパ作り

- ・災害時に使える新聞紙のスリッパ作りを習得
- ・がれきや割れたガラスから身を守る必要性を学習

6. 避難者ジャスチャーゲーム

- ・非常持ち出し品を使い、くじで引いた必要な品物をジェスチャーのみで伝えて、分かった人が持って行く競技
- ・災害時に制限された状況でのコミュニケーション方法を体験

7. 水消火器での的当て

- ・水消火器により消火器の使用方法体験



体育協会会長から競技内容の説明



備蓄品の毛布などを使用した簡易担架づくり



段ボールで作ったキャタピラリレー



水消火器による消火器体験

参加者からの感想

- ・新聞のスリッパ作りが楽しかった
- ・キャタピラリレーが面白かった
- ・運動会を通じて、防災に必要な知識や技術を楽しく学ぶことができた
- ・身近な物を使って人と協力して作ることが大切だと分かった
- ・競技を通じて災害の備えが分かった。災害時にも実践していきたい

ジュニア防災リーダー（中学生） - 第2回リーダーミーティング -

開催日時：令和5年11月3日（金）15：00～16：45

開催会場：早稲田集会所1階ホール

参加者：ジュニア防災リーダー4名、わせだ自主防2名

令和5年度の活動も前半が終わったことから、中学生のジュニア防災リーダーとのリーダーミーティングを開催して、これまでの活動の振り返りや今後の活動内容について意見交換をしました。

1. これまでの活動について

- これまでの活動の中で、参加して良かったと思う活動や内容、勉強になったと思うことなどについて、リーダーから意見を聞きました。

リーダーからの意見

〈参加して良かった活動〉

- かまどベンチづくり

〈勉強になった活動〉

- かまどベンチ作り

（意見）

- ・ベンチ製作の手順や方法について学ぶことができて良かった。
- ・電動工具などを初めて使用したが、使い方が良く分かった。

- 「早稲田ぼうさい駅伝」体験会

（意見）

- ・防災に関する基礎知識を学ぶことができた。



ミーティング状況



過去のふゆまつりで出展した防災コーナーの例
（令和元年度、防災ジャパング）

2. 「ふゆまつり」防災コーナーの出展計画

- 来年1月末に開催予定のふゆまつりに出展する防災コーナーについて、どのような出展をしたら良いかリーダーから意見を聞いてもらいました。
- これまでのふゆまつりで出展したコーナーの内容と目的について説明しました。
- リーダーから、ゲーム形式で楽しみながら防災を学べる企画案が出されたので、その企画案で進める方針としました。

3. ジュニア防災士テスト

- 今年度末に実施する予定のジュニア防災士テストについて、どのような形で実施するのか説明しました。
- リーダーに練習問題を解いてもらい、内容について解説しました。

早稲田学区自主防災連絡協議会

ジュニア防災士テスト 練習問題

①備蓄品として1人分の飲料水は、どのぐらい必要か。

A. 1リットル
B. 3リットル
C. 5リットル

回答欄

②自宅で地震が起こった時にまずしないといけないことは何か。

A. 頭など落ちてくる物から身を守る
B. 危険な屋内からすぐに外にでる
C. 火事にならないように火を消す

回答欄

ジュニア防災士テスト 練習問題



ジュニア防災リーダー（小学生） - 友楽タイム・防災クッキング -

開催日時：令和5年9月2日（土）10：00～12：30

実施場所：早稲田公民館 実習室

参加者：ジュニア防災リーダー6名（小学生6名）、わせだ自主防6名、早稲田学区青少協3名

早稲田学区青少協と連携した友楽タイムにて、ジュニア防災リーダーがライフラインが停止した時に備蓄品でできる調理方法として、ポリ袋によるパック調理と、キャンプ道具のメスティンによる自動調理を実践してみました。また、家庭で必要となる備蓄品についても学習しました。

1. 防災の日についての学習

- ・「防災の日」の意味について学習
- ・災害時にライフラインが止まるとどうなるかを学習

2. ポリ袋調理・メスティン自動調理についての説明

- ・カセットコンロがあれば備蓄品でできるポリ袋調理の解説
- ・メスティンを使って固形燃料だけでできる自動調理の解説
- ・それぞれの調理で使用する備蓄品について説明

3. ポリ袋調理の実践

- ・カセットコンロや備蓄品であるペットボトルの水、基本的な野菜や食材、缶詰などでできるポリ袋調理をリーダーが実践

《ポリ袋調理メニュー》

- ポテトサラダ
- チョコ蒸しパン

4. メスティン自動調理の実践

- ・キャンプ道具のメスティンと固形燃料だけを道具として使い、備蓄品の食料だけでできる自動調理をリーダーが実践

《メスティン自動調理メニュー》

- 焼き鳥缶炊き込みご飯
- ソーセージポトフ

5. 調理したメニューの試食

- ・自分たちで作った料理を全員で試食

6. 家庭での備蓄の必要性について解説

- ・災害時にライフラインが止まった時の備えとして備蓄品の実物を見ながら解説
- ・備蓄品の基本やローリングストックについて解説

7. 意見交換・まとめ



参加者の自己紹介



「防災の日」の学習資料



ポリ袋調理の実践



メスティン自動調理の実践



実物の備蓄品の展示

ジュニア防災リーダー（中学生・小学生） - 牛田山 防災ハイキング -

開催日時：令和5年8月20日（日）10：00～14：40

実施場所：牛田山登山道周辺

参加者：ジュニア防災リーダー6名（中学生4名、小学生2名）、わせだ自主防5名、保護者ほか2名

ジュニア防災リーダー（中学生）の研修活動として、平成26年の広島土砂災害が発生した8月20日にあわせて、平成30年7月豪雨の被災現場を視察したり、ライフラインが停止した時に役立つメスティン調理方法などを学習したりして、防災について考えるハイキングを実施しました。

1. 平成30年7月豪雨の被災地学習

- ・平成30年7月の西日本豪雨の時に被災した牛田東4丁目の現場を見学
- ・災害発生当時の被災状況や災害ボランティアの活動などを説明
- ・土石流が発生する原因や危険性について学習



平成30年7月の被災現場の見学

2. 牛田山の自然学習

- ・牛田山周辺の植物や地形など自然環境について解説
- ・地質などから土砂災害が発生しやすい原因について学習



登山をしながら牛田山の自然などについて学習

3. メスティン自動調理によるランチ

- ・牛田山山頂で、ライフラインが停止した場合にも備蓄品のできるメスティン自動調理を実践

《メスティン自動調理メニュー》

- ・カレーライス
- ・フルーツパンプディング



カレーライス



フルーツパンプディング



山頂でメスティン自動調理を体験してランチ

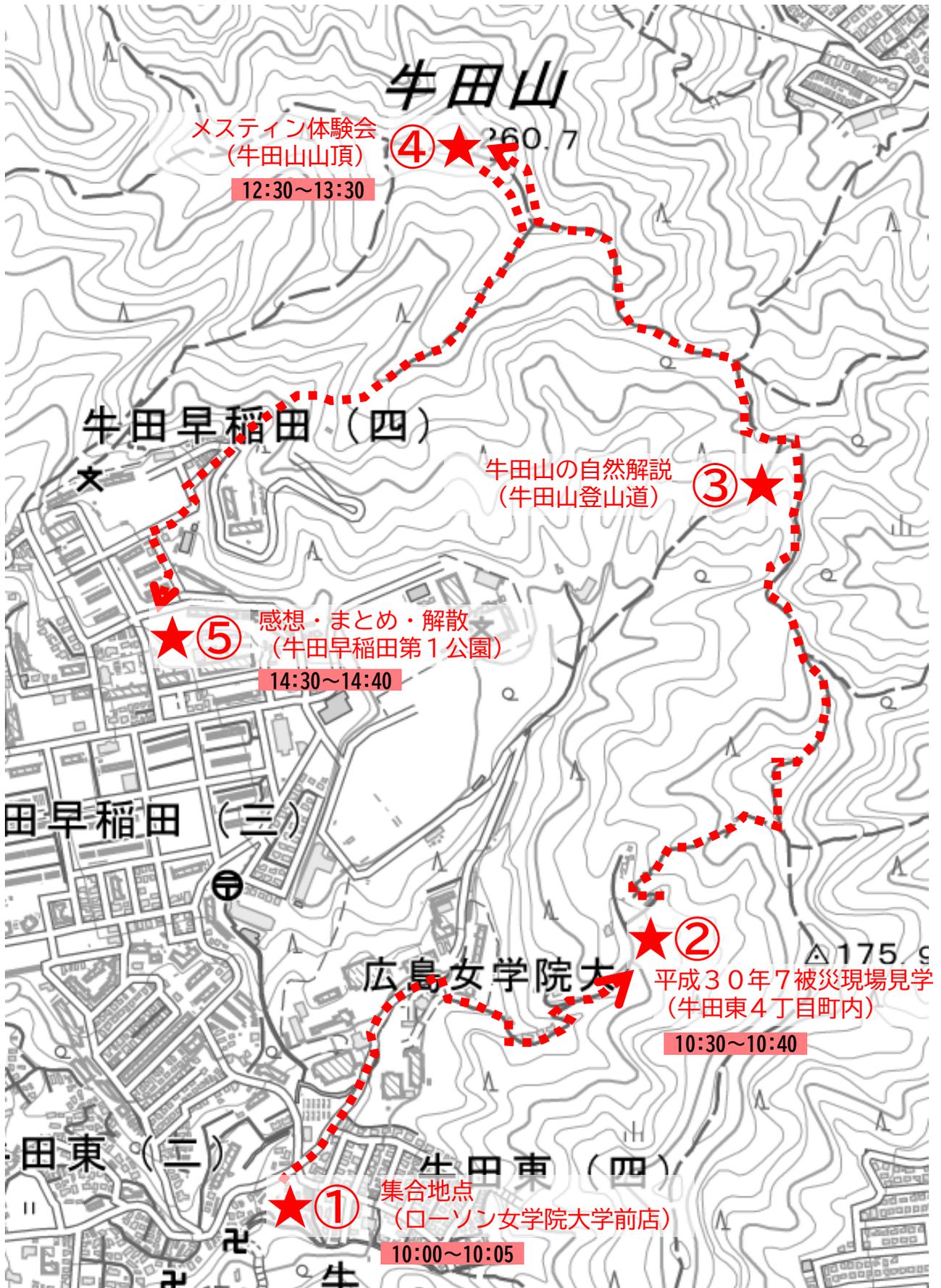
ジュニア防災リーダーの感想

- メスティンで自分でも調理できることが分かったので、家でも試してみたい
- 自然を体験したり、頂上できれいな景色を見ることができたりして楽しかった。
- 災害の被災地を見学して学びがあった。
- 山登りがしんどい時に、大人が助けてくれて無事に頂上まで登れたので、みんなで協力する大切さを学ぶことができた。



牛田山山頂で記念撮影

牛田山 防災ハイキング コース図



ジュニア防災リーダー（中学生） - 早稲田ぼうさい駅伝体験会 -

開催日時：令和5年7月30日（日）14：00～16：00

開催会場：早稲田公民館 研修室1

参加者：ジュニア防災リーダー5名、わせだ自主防7名、
保護者ほか2名

ジュニア防災リーダー（中学生）の研修活動として、早稲田学区オリジナルのボードゲーム「早稲田ぼうさい駅伝」を使って防災の基礎知識を学ぶ研修会を実施しました。

1. ボードゲーム「早稲田ぼうさい駅伝」の説明

- ・参加者自己紹介
- ・防災ボードゲーム「早稲田ぼうさい駅伝」が出来た理由の紹介
- ・「早稲田ぼうさい駅伝」の遊び方の説明

2. 「早稲田ぼうさい駅伝」体験プレイ

- ・「早稲田ぼうさい駅伝」を実際に体験
- ・ゲームで出てくる防災の基礎知識について、防災士が詳しく解説

3. 「早稲田ぼうさい駅伝」改善のアイデア募集

- ・ゲームを体験してみて、ゲームをもっと面白くする方法や防災を学びやすくするための方法などについて、リーダーから改善するアイデアを出してもらいました。

《改善アイデアの例》

- ・チャンスカードの種類を増やす
- ・ボードのマスにもっと早稲田の道（通り）を増やす

4. 台風シーズンの役立つ防災知識講座

- ・台風が本格的に来るシーズンを前に、台風がどのようなものか、台風への備えなどについて解説しました。
- ・その他、リーダーから防災士に聞いてみたいことなどについて意見交換を行いました。

5. ジュニア防災リーダー専用ビブスの貸与

- ・活動で着用してもらおうオリジナルビブスをリーダーに貸与しました

参加したリーダーからの感想

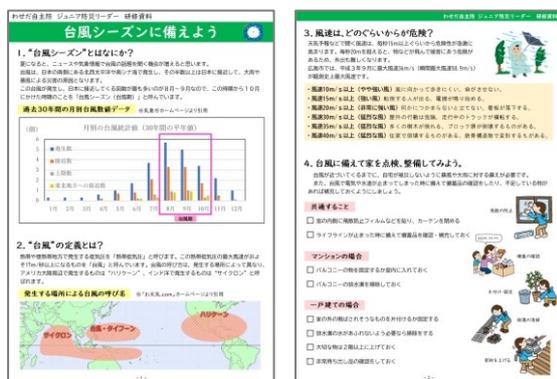
- 防災について様々な話を聞くことができて良かった。
- 災害に備えについて学習することができてためになった。
- ゲームで楽しみながら防災について知ることができて良かった。
- 台風についての知識や具体的な備えについて理解できた。



「早稲田ぼうさい駅伝」ゲームボード



「早稲田ぼうさい駅伝」の体験プレイ



「台風シーズンに備えよう」解説資料



リーダーもビブスを着て記念撮影

ジュニア防災リーダー（中学生） - 第1回リーダーミーティング -

開催日時：令和5年4月1日（土）13：00～14：00

開催会場：早稲田集会所1階ホール

参加者：ジュニア防災リーダー5名、わせだ自主防2名、保護者2名

令和5年度から新たな取り組みとして、中学2年生を対象にわせだ自主防と一緒に防災に関する知識や技術を学びながら、リーダーとして活動してくれるジュニア防災リーダーを募集したところ、5名の応募がありました。その5名に集まってもらい、リーダーとしての思いを確認して、今年度の活動内容などについて意見交換をしました。

1. 自己紹介

- ・ジュニア防災リーダーから自己紹介とともに、リーダーとして応募した理由や期待していることについて話してもらいました。

2. わせだ自主防とジュニア防災リーダー

- ・わせだ自主防の担当防災士から、わせだ防災プランに基づく早稲田学区での地域防災活動の紹介や、ジュニア防災リーダーを募集することになった思いなどを説明しました。



ミーティング状況

3. 今年度の活動計画（意見交換）

- ・防災デイキャンプやかまどベンチ作り、防災クッキングなど、ジュニア防災リーダーが参加可能な活動内容について紹介しました。
- ・ジュニア防災リーダー向けの年間を通じた活動として、「わせだの立体模型を作ろう！」を紹介しました。
- ・ジュニア防災リーダーから、参加してみたい活動や学んでみたい防災知識などについて意見してもらいました。

リーダーからの意見

- 災害が起こった時に、自分の命を守ったり、他の人を助けることができるような知識や技術を学びたい。
- 早稲田学区で災害が起こる時に必要な知識などを知りたい。
- 体を使ってできる活動に参加してみたい。

早稲田学区 ジュニア防災リーダー 活動企画(案)

“わせだ”の立体模型を作ろう！



活動期間：夏休み～秋休みの間

活動回数：2～3回程度

早稲田学区の地形を再現した立体模型を作り、学区内で危険な場所や注意すべき点などを模型で示すことで、視覚的に確認しながら防災についてみんなで考えます。
完成したら、早稲田公民館のふれあい祭りなどで展示します。

「わせだの立体模型を作ろう！」説明資料

4. その他

- ・活動に参加しやすい方法の確認
- ・連絡方法の確認

